

健康リスク初期評価結果一覧（13物質）

番号	物質名 [CAS番号]	有害性の知見				曝露評価		MOE・過剰発生率		総合的な判定 (注1)	過去の公表				
		曝露経路	リスク評価の指標	動物	影響評価指標（エンドポイント）	曝露の媒体	予測最大曝露量・濃度								
1	6-アセチル-1,1,2,4,4,7-ヘキサメチル テトラリン [21145-77-7、1506-02-1]	経口	無毒性量等 0.15 mg/kg/day	ラット	貧血、プロトロンビン時間の延長など	飲料水	—	MOE	—	○	—				
						淡水	0.0092 μg/kg/day	MOE	1,600						
		吸入	無毒性量等 —	—	—	一般環境大気	—	MOE	—	○(注2,3)					
						室内空気	—	MOE	—	○(注2,3)					
2	2-イミダゾリジンチオン [96-45-7]	経口	無毒性量等 0.01 mg/kg/day	ラット	発情周期の延長	飲料水	—	MOE	—	○(注5)	—				
						淡水	< 0.00072 μg/kg/day	MOE	> 280						
		吸入	無毒性量等 0.2 mg/m ³	ラット	甲状腺の濾胞上皮の肥厚、コロイドの減少、過形成など	一般環境大気	—	MOE	—	○(注3,5)					
						室内空気	—	MOE	—	×					
3	3-クロロ-2-メチル-1-プロペン [563-47-3]	経口	無毒性量等 5.4 mg/kg/day	ラット	前胃の基底細胞過形成、腎症	飲料水	—	MOE	—	○(注3,5)	—				
						スロ-フ-ファクター	0.14 (mg/kg/day) ⁻¹	マウス	前胃腫瘍			地下水	—	MOE	—
												過剰発生率	—		
		吸入	無毒性量等 3.3 mg/m ³	ラット	腎臓相対重量減少など	一般環境大気	0.025 μg/m ³	MOE	2,600	(▲)(注4,5)					
						マウス	体重増加抑制など	過剰発生率	—						
								エントリスク	—	—		—	MOE	—	×
過剰発生率	—														
	4	ジエチレングリコール [111-46-6]	経口	無毒性量等 11 mg/kg/day	ラット	結晶尿、腎機能の変化	飲料水	—	MOE	—	(▲)(注3)	—			
地下水							—	MOE	—						
吸入			無毒性量等 54 mg/m ³	ラット	血液、血液生化学項目の変化	一般環境大気	0.043 μg/m ³	MOE	130,000	○					
						室内空気	—	MOE	—	×					
5	ジフェニルジスルファン [882-33-7]	経口	無毒性量等 0.01 mg/kg/day	ラット	尿管の硝子滴、好塩基性変化	飲料水	—	MOE	—	○	—				
						淡水	< 0.000023 μg/kg/day	MOE	> 43,000						
		吸入	無毒性量等 —	—	—	一般環境大気	< 0.0019 μg/m ³	MOE	—	○(注2)					
						室内空気	—	MOE	—	×					
6	3,3'-ジメチルベンジジン [119-93-7]	経口	無毒性量等 0.13 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制、肝細胞の変性など	飲料水	—	MOE	—	(▲)(注4,5)	—				
						スロ-フ-ファクター	16 (mg/kg/day) ⁻¹	ラット	全腫瘍			淡水	< 0.000064 μg/kg/day	MOE	> 41,000
												過剰発生率	< 1.0×10 ⁻⁶		
		吸入	無毒性量等 —	—	—	一般環境大気	< 0.000076 μg/m ³	MOE	—	○(注2,5)					
						エントリスク	—	—	室内空気	—		MOE	—	×	
									過剰発生率	—					
7	3,3'-ジメトキシベンジジン [119-90-4]	経口	無毒性量等 0.46 mg/kg/day	ラット	肝臓・脾臓の造血亢進など	飲料水	—	MOE	—	○(注5)	—				
						スロ-フ-ファクター	4.8 (mg/kg/day) ⁻¹	ラット	全腫瘍			淡水	< 0.000084 μg/kg/day	MOE	> 110,000
		吸入	無毒性量等 —	—	—	一般環境大気	—	MOE	—	○(注3,5)					
						エントリスク	—	—	—			室内空気	—	MOE	—
過剰発生率	—														

番号	物質名 [CAS番号]	有害性の知見				曝露評価		MOE・過剰発生率		総合的な判定 (注1)	過去の公表	
		曝露経路	リスク評価の指標	動物	影響評価指標(エンドポイント)	曝露の媒体	予測最大曝露量・濃度					
8	2-(チオシアナートメチルチオ)-1,3-ベンゾチアゾール [21564-17-0]	経口	無毒性量等 0.38 mg/kg/day	イヌ	白血球、単球の減少	飲料水	—	MOE	—	○	—	
						淡水	< 0.000033 μg/kg/day	MOE	> 1,200,000			
		吸入	無毒性量等 —	—	—	一般環境大気	—	MOE	—	○(注3)		
						室内空気	—	MOE	—	×		
9	ピペラジン [110-85-0]	経口	無毒性量等 2.5 mg/kg/day	イヌ	最高用量で影響なし	飲料水	—	MOE	—	(▲)(注4)	—	
						淡水	0.00088 μg/kg/day	MOE	280,000			
		吸入	無毒性量等 —	—	—	一般環境大気	—	MOE	—	○(注2,3)		
						室内空気	—	MOE	—	×		
10	ヘキサメチレンジアミン [124-09-4]	経口	無毒性量等 15 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制	飲料水	—	MOE	—	○	—	
						淡水	0.11 μg/kg/day	MOE	14,000			
		吸入	無毒性量等 0.055 mg/m ³	ラット・マウス	鼻組織の変性	一般環境大気	0.0018 μg/m ³	MOE	3,100	(▲)(注4)		
						室内空気	—	MOE	—	×		
11	ヘキサメチレンテトラミン [100-97-0]	経口	無毒性量等 27 mg/kg/day	ヒト	悪影響がみられない用量	飲料水	—	MOE	—	○	—	
						淡水	2.6 μg/kg/day	MOE	10,000			
		吸入	無毒性量等 —	—	—	一般環境大気	—	MOE	—	○(注2,3)		
						室内空気	—	MOE	—	×		
12	ベンゾフェノン [119-61-9]	経口	無毒性量等 1.5 mg/kg/day	ラット	肝臓の慢性活動性炎症、胆管・尿管・C細胞の過形成など	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	○	—	
						淡水	0.0015 μg/kg/day	MOE	20,000			
		吸入	無毒性量等 —	—	—	一般環境大気	—	MOE	—	○(注2,3)		
						室内空気	—	MOE	—	○(注2,3)		
13	メタクリル酸2,3-エポキシプロピル [106-91-2]	経口	無毒性量等 1.0 mg/kg/day	ラット	前胃の扁平上皮過形成	飲料水	—	MOE	—	○(注3,5)	—	
			スロ-ファクター	—	—	—	地下水	—	MOE			—
			過剰発生率	—	—	—	過剰発生率	—				
		吸入	無毒性量等 0.062 mg/m ³	マウス	嗅上皮・腺の呼吸上皮化生など	一般環境大気	< 0.059 μg/m ³	MOE	> 21	(▲)(注4,5)		
			5.8×10 ⁻⁵ (μg/m ³) ⁻¹	ラット	中皮腫	過剰発生率	< 4.0×10 ⁻⁶	過剰発生率	< 4.0×10 ⁻⁶			
			ユニットリスク 6.7×10 ⁻⁵ (μg/m ³) ⁻¹			室内空気	—	MOE	—	×		

(注1) ○：現時点では更なる作業の必要性は低い、 ▲：更なる関連情報の収集に努める必要がある、 (▲)：既存の関連情報を総合的に勘案して判断すると更なる関連情報の収集に努める必要がある、

■：詳細な評価を行う候補、 (■)：既存の関連情報を総合的に勘案して判断すると詳細な評価を行う候補、 ×：現時点ではリスクの判定はできない。

(注2) リスク評価の指標を設定できなかったが、曝露経路間の換算により算出した値、許容濃度(TLV-TWAなど)や異性体情報などを考慮して総合的に判定した。

(注3) 予測最大曝露量・濃度が得られなかったが、過去の曝露データや限られた地域の曝露データ、PRTRデータを用いた濃度予測結果、媒体別分配割合の予測結果、水中や大気中での半減期、生産量、物性などを考慮して総合的に判定した。

(注4) 飲料水や地下水などの過去の曝露量や曝露濃度、PRTRデータを用いた濃度予測結果などを考慮して総合的に判定した。

(注5) MOEの算出に当たっては、発がん性を考慮した。